

## 施工・取扱説明書

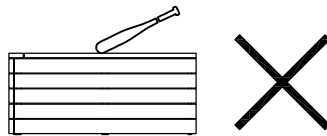
このたびは、ファンダライン「ジョンプランター」をお買い上げくださいますと有難うございました。  
下記の施工説明書をよくご覧の上、正しく施工を行ってください。

### ■施工上の注意事項

- ・2人以上で組み立ててください
- ・ボルト類の締め付けは全て確実に行ってください。
- ・付属の部品以外は使用しないでください。
- ・施工後、ボルト類のゆるみやガタつきなどがないか点検してください。
- ・プランターを設置する場所がコンクリートの場合、付属している芯棒打込み式アンカー（オールアンカー）にて固定することを推奨します。
- ・平らなところで組み立ててください。

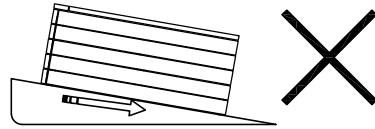
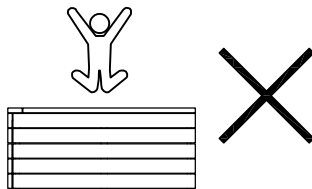
### ■使用上の注意事項

- ・プランターの上に重量物を落したり、堅いもので叩いたりすると、表層材の割れ、へこみ、キズの原因となります。
  - ・プランター本来の目的以外の用途で使用しないでください。
  - ・同色の製品間で若干の色のばらつきがありますので、予めご了承ください。
  - ・プランターを火気使用箇所に設置しないでください。  
また、火のついたタバコを置いたり、近づけたりしないでください。
  - ・プランターを保管する場合は、平らな屋内で保管をしてください。
  - ・雨シミができることがあります。製品に含まれる木粉中の成分に雨水が溶出してできるもののため、有害ではありません。
  - ・プランターに傷、汚れが着いた場合は、＃60程度のサンドペーパーで削ることにより補修することができます。
- なお、強く何度も擦ると基材部が出てきますので、削りすぎには注意してください。



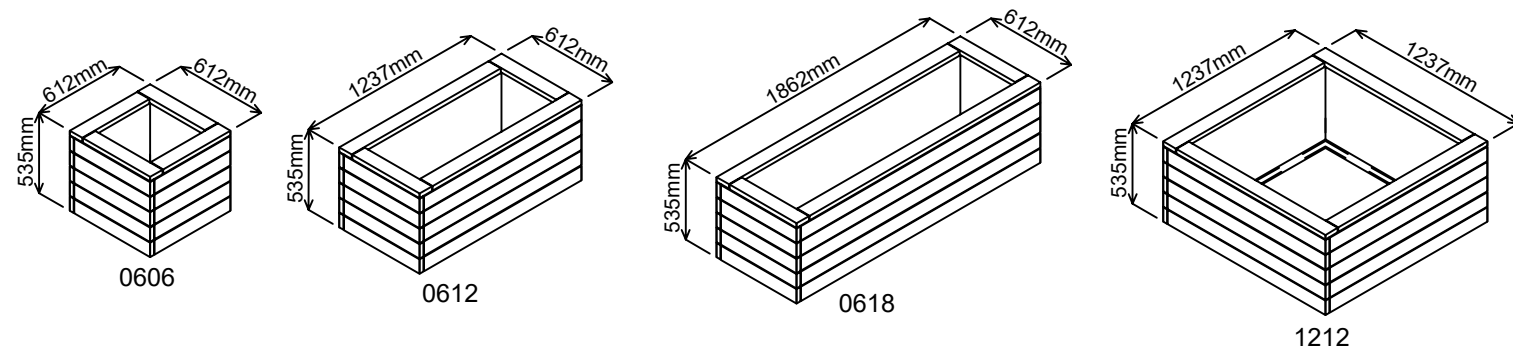
### ■安全上の注意事項

- ・プランターの上に登ったり、飛び跳ねたりしないでください。
- ・傾斜や段差のある不安定な場所で使用しないでください。



- ・転倒する恐れのある樹木は植えないでください。樹木による転倒や事故、破損については当社で責任を負うことができません。
- ・人災、天災、地変、その他不可抗力による滑動や転倒によって生じるトラブルについては当社で責任を負うことができません。
- ・プランターは芯棒打込み式アンカーで固定せずに使用することもできますが、風や地震等の外力でプランターが滑動、転倒する可能性が高くなり、そのことによって生じるトラブルについては当社で責任を負うことができません。
- ・袋が裂けた場合は新しいものに変えてください。
- ・隙間に手や足を入れないでください。
- ・強い振動、衝撃のあるところで使用しないでください。
- ・プランターは夏期の直射日光下で表面が高温になる場合がありますのでご注意ください。

### ■姿図



### ■部材一覧

- 開封時に種類と数量を確認してください。  
(ボルト類の袋の内容も確認してください。)
- 商品に異常がないか確認してください

ご準備いただくもの

- 電動ドリルM8用（推奨）またはM8用ソケットレンチ
- スケール
- ハンマー（芯棒打込み式アンカー用）
- Φ8.5コンクリートドリル（芯棒打込み式アンカー用）
- 集じん機、ブロワー（芯棒打込み式アンカー用）

### ■梱包内容（ジョンプランター1212）

笠木ユニット12×4 接続材12×4 (2梱包)	壁ユニット12×4 (4梱包)	袋1212×1 (1梱包)

### ■梱包内容（ジョンプランター0606）

笠木ユニット06×4 接続材06×4 (2梱包)	壁ユニット06×4 (2梱包)	袋0606×1 (1梱包)

### ■梱包内容（ジョンプランター0612）

笠木ユニット06×2 接続材06×2 (1梱包)	笠木ユニット12×2 接続材12×2 (1梱包)	壁ユニット06×2 (1梱包)	壁ユニット12×2 (2梱包)	袋0612×1 (1梱包)

### ■梱包内容（ジョンプランター0618）

笠木ユニット06×2 接続材06×2 (1梱包)	笠木ユニット18×2 接続材18×2 (1梱包)	壁ユニット06×2 (1梱包)	壁ユニット18×2 (2梱包)	袋0618×1 (1梱包)

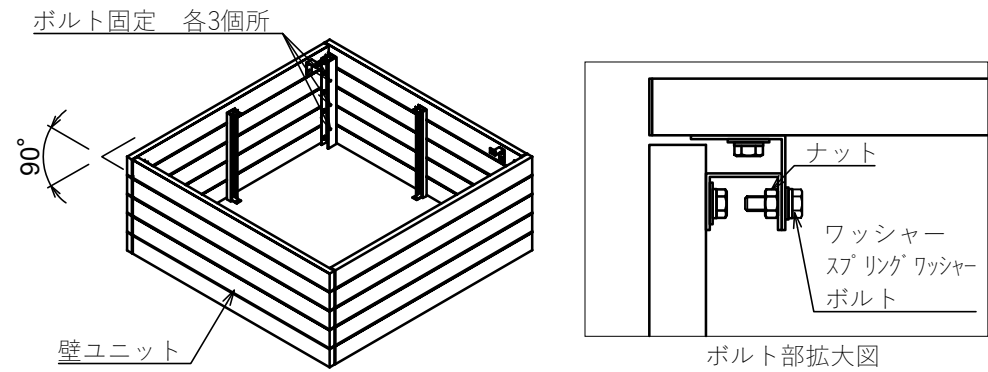
### ■梱包内容（共通部材）

金物セット	

■施工手順

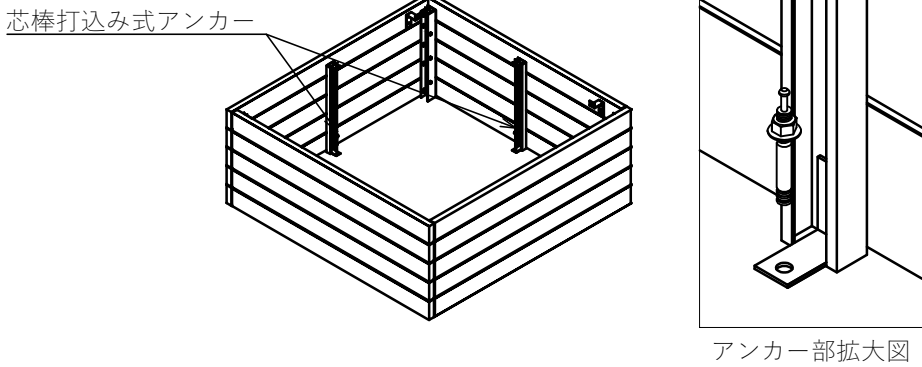
手順1 壁組立

- 設置する場所に壁を配置し、ボルトで固定してください。  
ナット、部材、ワッシャー、スプリングワッシャー、ボルトの順で締めてください。
- この時矩が出ていることを確認してください。  
矩が出ていないとゆがみの原因になります。



手順2 芯棒打込みアンカー設置

- 壁底面に空いている穴の位置に芯棒打込み式アンカーを設置してください。  
※0618 : 6か所  
その他: 4か所



手順2-1 穿孔

- φ8.5のドリルを使用しコンクリートを深さ40mmで穿孔してください。  
※付属している芯棒打込み式アンカーはコンクリートに40mm埋込む必要があります。

手順2-2 孔内清掃

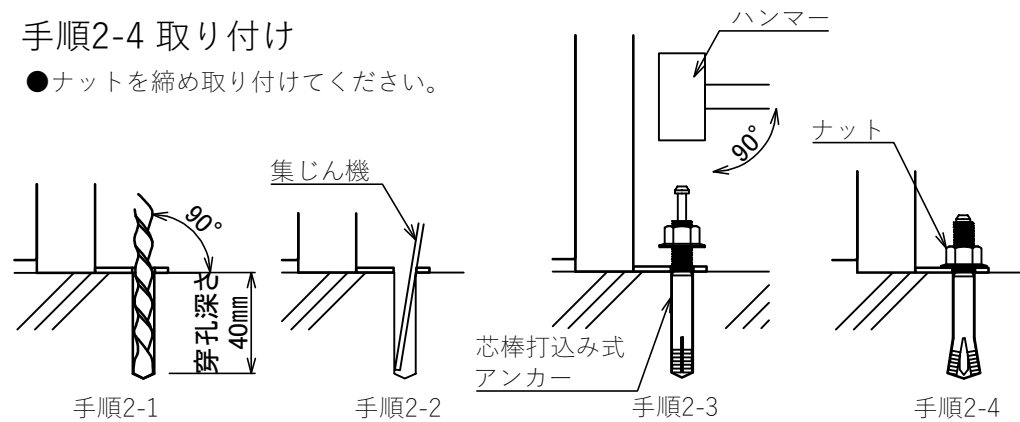
- 集じん機やブロワーなどを使用して孔内の切粉を除去してください。

手順2-3 打設

- ナットを緩めた状態で芯棒打込み式アンカーを奥まで設置し、ハンマー等でアンカーを打設してください。

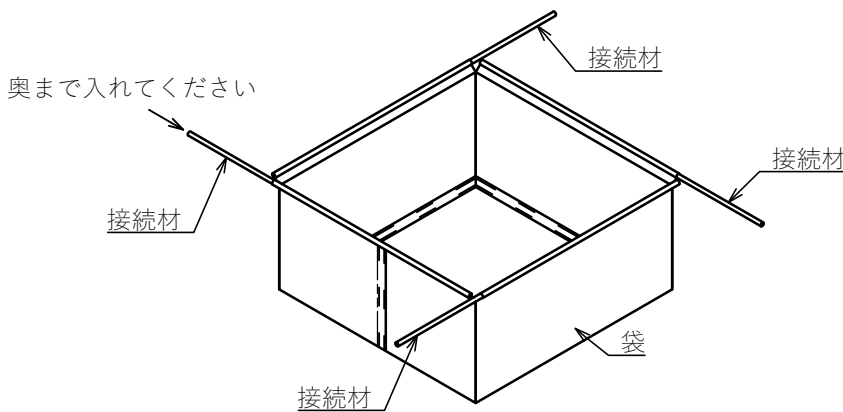
手順2-4 取り付け

- ナットを締め取り付けてください。



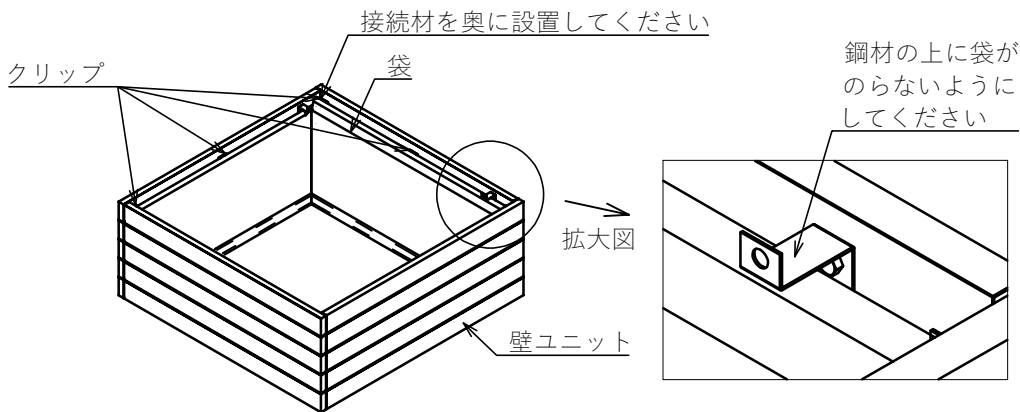
手順3 袋に接続材設置

- 袋上部に接続材を入れてください。この時接続材は袋の奥まで入れてください。



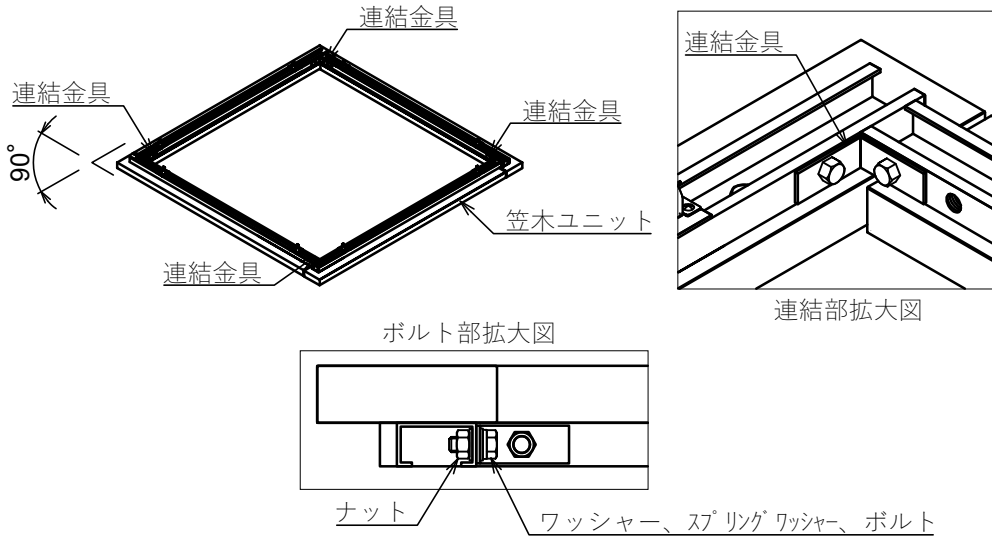
手順4 袋設置

- 壁材に袋を設置してください。  
この時接続材を全てのクリップに挟むことができる位置で設置してください。  
※右端にある鋼材の上に袋が載らないように設置してください  
0618 : クリップ数10個  
その他: クリック数8個



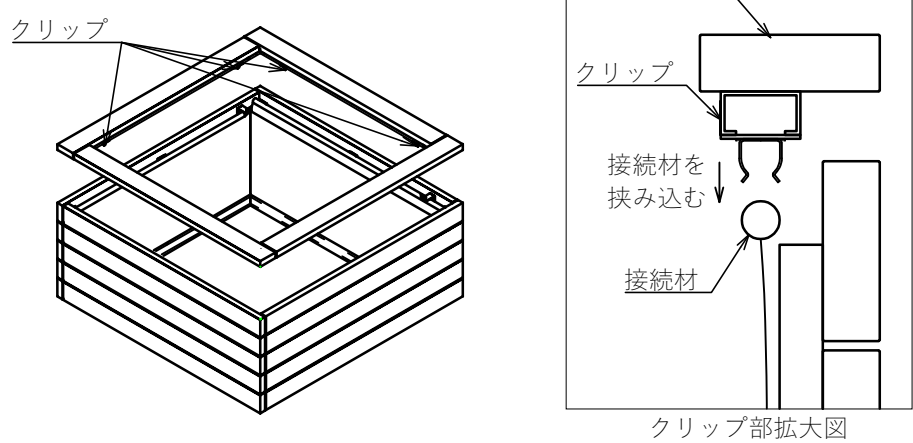
手順5 笠木組立

- 平な場所で連結金具を使用し笠木を組み立ててください。  
ナット、部材、ワッシャー、スプリングワッシャー、ボルトの順で締めてください。
- この時矩が出ていることを確認してください。  
矩が出ていないとゆがみの原因になります。



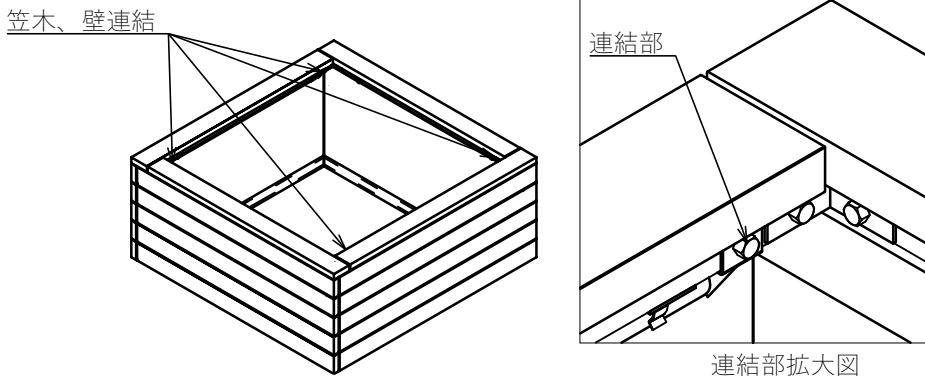
手順6 笠木設置

- 壁の位置に合わせて笠木を設置してください。  
その際クリップでしっかり接続材を挟み込んでください。  
0618 : クリップ数10個  
その他: クリック数8個



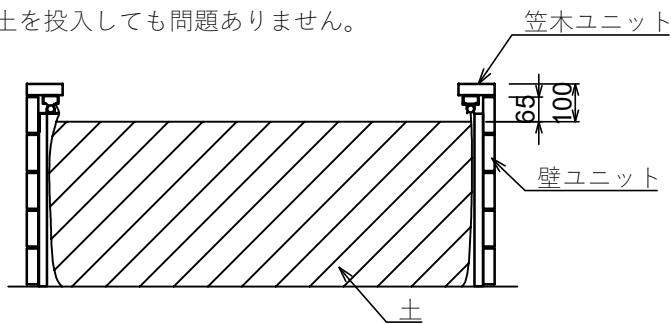
手順6 笠木、壁連結

- 笠木と壁を連結してください。  
ワッシャー、スプリングワッシャー、ボルトの順で締めてください。  
※4か所



手順7 土投入

- 土は笠木天端から10cm下の位置よりも上までは入れないようにしてください。  
※手順4の後に土を投入しても問題ありません。



●お問合せ



事業開発本部 まちづくり事業推進室  
〒140-8516  
東京都品川区大井1丁目23番3号  
TEL :03-5742-6321  
MAIL:gksgs@fukuvi.co.jp